

Kinan

確かな未来へ、安心のネットワーク

JA紀南
JAふれあい広報誌



4

2023
No.240

Kinan
2023
No.240
4



表紙の人 萩原 佳名子さん

みんな おいでよ!

第6回 わいわいフェスタ

3月21日(火・祝)

10:00~14:00

白浜会館(白浜町1)

来場者全員が対象
ガラガラ抽選も



販売コーナー

自慢の手芸品、手作り野菜、加工品、フリーマーケット

写真はイメージです

ちょっと見てよ、私らの活動!

各ブロックの活動内容展示



「神島屋」お弁当販売

体験コーナー

フラワーアレンジ、消しゴムスタンプ、ハンドエステ&眉スタイリング、骨密度測定など



キッチンカーもやってくる!

たこ焼き、シュークリーム、かまてんバーガー、ピザ、お弁当

紀菜柑の切り花・イチゴも販売します。JA紀南青年部も参加♪



今わたしたちからできること
みんなで国産国産 暮らしにSDGs

詳しくは、JA紀南 ふれあい課 まで ☎ 0739-25-5806



JA紀南女性会 主催

JA紀南 公式ホームページ <https://www.ja-kinan.or.jp/>
Eメールアドレス info@ja-kinan.or.jp

Kinan No.240 2023年4月号 令和5年3月10日発行

● 発行所/紀南農業協同組合 〒646-0027 和歌山県田辺市朝日ヶ丘24-17 ☎ 0739-23-3450

● 発行人/代表理事 組合長 山本 治夫 ● 編集/経営企画部 ● 印刷所/(有)自治会印刷所



UMEPII_MIHAPPI

JA紀南公式
インスタグラム

UMENOMAHOU_JAKINAN

梅の魔法
かんたん梅料理



JAグループ

耕そう、大地と地域のまらい。

SDGs
持続可能な社会の実現のために、環境にやさしい取り組みを推進します。

農を耕し、
地域を起こす

シリーズ
あぐりびと
《No.105》

農人

田辺市秋津町
(中央支所管内)
なす くにお
那須 都男さん
(45)

田辺市秋津町の那須都男さんは、義父から託された梅・ミカン・中晩柑を栽培する。中でも3月から収穫を始める「不知火」は、就農する那須さんの背中を押した「特別な」存在。受け継いだ栽培知識と、自身のこだわり栽培をミックスさせ、さらなる品質向上を追求する。

那須さんのこだわりが
ぎゅっと詰まった「不知火」

亡き義父の「不知火」に魅せられ 糖・酸度のバランス重視で栽培



生まれは田辺市下三栖、電気
卸業の営業担当として20年以上
勤めてきた那須さんが、農家に
転身したのは5年前のこと。闘
病中の義父の跡を継ぎ、周囲の
助けを借りながら手探りで梅、
ミカン、中晩柑の栽培を始め
た。何度も壁にぶつかっては、
教えを請いに病室に駆けこんだ
という。
未経験での就農は当然不安が
大きかったが、覚悟を決めたの
は初めて義父の「不知火」を食
べた瞬間だったという。「中晩
柑類は酸っぱかった記憶しかな
く、苦手だった。だからこそ、
あの時食べた不知火のおいしさ
が忘れられない。絶対に残して
いけないといけないと思った」
と振り返る。
2・5坪のハウスで栽培する

「不知火」は、就農時に購入した糖酸度計で、年明けから1週間一度数値を測り、出荷時期を見極める。「目標にする数字を決めれば方向性を迷わない」という那須さんは、食べて感じる、食味の「人感センサー」を数字で裏付ける。

さらに「不知火」をよりまろやかに仕上げる方法を模索しており、一部で有機栽培にも挑戦中だ。ハウスでつくる利点のひとつに、大事な土壌菌が雨で流れることがないので、土づくりがしやすいことが挙げられる。今後の課題は、木ごとにばらつく糖・酸度の値を一定にするため、かん水ホースの整備などを計画している。

の消費者はもちろん、紀南農産物の発信拠点として観光客にもアピールする必要がある」と話す那須さんは、感染対策で試食ができなくなった代わりに、「不知火」をはじめとする中晩柑には、スマホで品種説明が閲覧できるようQRコードを貼る工夫をしている。

「アメリカには、おだやかな海ではいい船乗りは育たない」という言葉があるらしい。それは農業者にとっても同じで、「おだやかな天候ではない農家は育たない」のではないだろうか。天候だけでなく、あらゆる困難があるからこそ、知恵を絞っていいものが生まれるのだと思うと那須さん。

ハウスに差し込む光を受けオ
レンジ色に輝く「不知火」に
は、亡き義父の教えと、那須さ
んのこだわりが詰まっている。
(文・写真 北村万里奈)

また、地域とつながる農業も
目指している那須さんは、農福
連携の研究にも取り組む。2年
前には地元の福祉施設の利用者
の皆さんとともに梅の剪定枝拾
いを行った。コロナ禍で中断し
ているものの、継続していき

に努めている。

「おだやかな天候ではない農家は育たない」

表紙の人

はぎはら かなこ
萩原 佳名子さん
(23歳)
田辺市稲成町

主なもくじ ～MAIN CONTENTS～

- 青梅取引拠点市場を訪問 4
- チョーヤ梅酒と懇談会 4
- 農業青年の婚活イベント開催 6
- 3年ぶりに女性会つどい・家の光大会 8
- ちやぐりんサッカー大会 19



部活の思い出は今も鮮明に

田辺市の自動車販売店で、事務員をしています。覚えることはたくさんありますが、もともとドライブが好きで車を見るのもワクワクするので、仕事が楽しいです。

中学時代は剣道、高校時代はソフトボールとそれぞれ未経験の競技を選び、3年間一途に打ち込んだ思い出は、今も鮮明に覚えています。初めてのことに挑戦するのが好きなので、趣味に関しては、興味の移り変わりが早い方かもしれません(笑)。最近では自転車で景色を見て回るのがハマっていて、満開の桜が待ち遠しいです。

休日は愛車を洗ったり、ドラマを観て過ごすことも多いです。好きな芸能人は俳優の市原隼人さん。一緒にいると楽しくて、リードしてくれる人がタイプです。「ありがとう」とちゃんと言葉で言い合える関係が理想です。

撮影日記

2月1日、田辺市上秋津の「秋津野ガルテン」で撮影しました。この日は曇天で薄暗がりでの撮影でしたが、モデルさんの透明感が眩しく、神秘性が引き立っていました。

おしえてみかっぴ



質問
Aコープ商品券はAコープだけで
しが使えないの？

※質問の答えはほかのページにがくれているよ

令和5年産青梅販売に向け

全国の拠点市場14社を訪問

例年以上の数量を要望

J A紀南は2月中旬から4月にかけて、全国にある青梅の取引拠点市場14社を訪問する。梅干しの流通が鈍い中、令和5年産の青梅販売にける思いは強く、産地と市場の連携により有利販売を目指す。

J Aの昨年の市場出荷量は3033トとほぼ計画通りで、平均市場価格も一昨年には及ばなかったものの、1ト当たり582円と良好だった。令和5年産におい



倉敷青果の担当者と懇談するJA役職員ら

ても市場との情報交換を密に取り組み、有利販売を目指している。

市場への訪問はコロナ禍によって中断していたため、3年ぶりに実施。初回の2月13・14日には、J A役員と梅部会役員らが中国・九州の4市場を訪問し、市場関係者らと懇談した。産地からは梅の開花始めの状況や作柄の予想など、最新の情報を提供。併せて「今年には昨年以上に青梅を販売してもらいたい」と要望した。

市場からは梅干しの在庫状況や、生産量の増減など産地概況について質問が出された。また、梅を漬ける

人口が年々減少していることに触れ、「若年層に梅をアピールするにはどうしたらよいか」について双方が話し合った。

梅の消費宣伝活動については、ここ2〜3年店頭での宣伝販売や講習会ができていない状況から、市場から「今年はずいぶん実施したい」という意向が示された。

市場訪問を通じ、J Aの販売担当者は「J A紀南の梅を楽しみに待っていてくれる全国の人たちへ、今年も良い梅が届けられるよう精一杯頑張りたい」と気を引き締めた。

今後は3月下旬から各地の拠点市場とヒアリングを行いながら販売計画を組んでいく。シーズン直前には市場担当者を産地に招いて販売対策会議を開き、5月上旬からの青梅販売に臨む。

これからの梅産業を考える

チヨーヤ梅酒と懇談会



あいさつするJA紀南の坂本専務

懇談会は昨年に行っていた2回目。今回は、「梅の需要関係に起因する影響とその対策方向」をテーマに、産地、チヨーヤ梅酒双方の立場から意見を述べた。

意見交換では、小芝鉄也生販委員長から「梅の開花状況から見ると今年は平年作を予想している。タールの在庫状況を考えると、漬けることすら厳しい農家もいるが、今から青果出荷に切り替えるのも難しいのだが」という問題提起があった。

チヨーヤ梅酒の金銅俊二専務は、「在庫しておくことが可能であるのは、梅の強みでもある。梅干しの市場をきちんと作って、流通をとりまとめる必要がある」と提言。J Aは「倉庫業者と提携する手もあるが、費用面にしる、産地全体が協力しないと厳しい。まずは消費対策が重要で、今が正念場」と話した。

干しの海外展望について、チヨーヤ梅酒の金銅専務は「すっぱさに抵抗がある国が多いので厳しいが、欧米

よりアジアの方が可能性はある。ただ相当の工夫が必要だ」と述べた。

が高いのは、フルーツ系の甘い梅干し。かんきつなど管内の農産物とコラボした梅干しを出してはどうか

といった提案もあった。今回の意見を踏まえ、次回梅干しを呼び掛け、梅需給対策

や消費拡大等について意見交換・協議する方向で開催することを確認した。

常勤役員連載

きずな



常務 大炭 敦史

サポカー限定免許

先日、組合員懇談会の中で、「サポトカー限定免許というのがある。農業は車が必要だが、高齢で免許の自主返納となると仕事ができないため、家族も安心できるこの制度を組合員に知らせる必要があるのでは」というご意見をいただきました。

私自身、耳にしたことはありませんでしたが、詳細まで理解していただき、2022年5月13日に新設された自動車運転免許とのことでした。これは、アクセルの踏み間違い防止機能などの運転支援機能を搭載した「サポトカー」として認

定された車だけを運転することができる免許です。運転免許を持っている方が申請することにより、運転できる自動車の範囲がサポトカーに限定されるものです。では、サポトカーとはどのような車であるかということですが、次の2つの機能を有する車です。

- ①衝突被害軽減ブレーキ（対車両、対歩行者）
- ②ペダル踏み間違い時加速抑制装置

発進時やごく低速での走行時に、ブレーキペダルと間違えてアクセルペダルを踏みこんだ場合に、エンジン出力を抑える方法により、加速を制御する機能。①の装置が道路運送車両の保安基準に適合するもの、または①及

び②の装置（マニュアル車は①の装置のみ）が、それぞれ国土交通大臣による性能認定を受けているものに限定する予定です。

この制度により、「仕事や生活していく上で車が必要だが、運転に不安を覚えることがある」という方への、いわば免許返納に代わる選択肢が増えたことになりました。家族の安心も広がることでしょう。

しかもサポトカーは乗用車だけでなく、農作業の強い味方となる軽トラックでも、サンバーやハイゼット、キャリー等各社取り揃えているようです。自主返納の前に、安全装置の付いた自動車への乗り換えも、一つの方法かもしれません。

2025年問題と農業

戦後の第一次ベビーブームに生まれた「団塊の世代」が、75歳を迎える2025年に起きるとされている問題のことを「2025年問題」と言われています。具体的には医療費や介護、年金など社会保障費の増大が懸念される問題の総称のことです。

突入するということですが、農業に於いていえば、その年代の方々はまだまだ現役かつ元気に活躍している方が多いように思います。

その方々が安全に活動でき、安心して農業ができるようにしていくことも、地域社会にとっては必要なことではないでしょうか。前段で述べたサポトカーもその一つで、過去には補助金制度があり、現在は廃止されているようなので、復活を期待したいものです。

さらに、乗り物の自動運転技術も進んでいます。GPS（全地球測位システム）やGNSS（人工衛星を利用した全世界測位システム）を駆使し、様々な乗り物の実用化に向けた試験が行われているとの報道も耳にします。

自然豊かな田舎で生活していくため、農業を営むためには自動車は必需品です。間もなく訪れる超高齢化社会においても、サポトカーや自動運転という技術の進展により、農業を現役で活躍できる期間も広がるのではないかと期待しています。

ドローンを農業に役立てたい

東京農工大生が紀南で実証実験



ドローンの動作を確認する近藤さん(右)と山田さん

農業へのドローン技術の研究する東京農工大学の学生2人が、2月25日から4日間紀南地方を訪れ、上富田町のタカナ園で実証実験を行った。得られたデータをもとに、開発中のドローン機器の実用化を目指す。

訪れたのは、同大工学部知能情報システム工学科の近藤慎之介さん(23)と、山田実夢さん(21)。全国各地で作物・園地条件別のデータを収集していた2人は、JA紀南職員の紹介を受け、上富田町朝来の農家、井戸本拓也さん(35)に協力を依頼した。

2人が研究するテーマは、

ドローンを用いた園地のモニタリングによる農作業の効率化や、画像解析による病害虫の早期発見と品質向上など。誰もがスマートフォンを導入しやすいよう、運転の自動化やコスト低減も目指している。

近藤さんは、植付け場所ごとの作柄のムラをなくすため、土中の水分量や日照条件などを測る計測器と連動させたモニタリングを行う。山田さんは点群データを用い、スマホと連動するバーチャル農場などの実現を目指しているという。

2人は実際にドローンを飛ばし、タカナ園場に適した高度の測定や、光信号の動作、画像データが正常に送られていくかなどを確認。タカナの収穫体験も行い、近藤さんは「実際に農作業をしてみると、ここがもっと便利になれば、という発見がたくさんあった。この経験をシステムの改良に生かしたい」と話した。

受け入れた井戸本さんは「農業者の高齢化や人口流出は止められないので、生産性の向上や作業効率を上げる手立てに、スマート農業は有効だ。新規就農しやすい環境づくりのためにも、生育データが目に見えるのはありがたい」と話している。

4組のカップルが成立 婚活イベントに男女27人

アグリパートナー推進協



JA紀南や田辺市・県などでつくるアグリパートナー地域推進協議会(会長=城戸誠司 JA紀南指導部長代理)は2月19日、田辺市内で「いちご摘み婚活」を開き、農業青年17人、女性10人の計27人が参加した。

自己紹介やレクリエーションの後、田辺市稲成町の宮本正信さんの園地で「いちご摘み」を体験。緊張していた様子の参加者らも次第に表情が和らぎ、思い思いに会話を楽しむ姿が見られた。

その後は田辺市の「銀ちろ(塔ノ内店)」に移動し、会席料理を堪能。今回は4組のカップルが成立した。

農業の後継者不足、担い手の高齢化が進む中、地域農業の安定と未来の後継者を確保するため農家に良きパートナーと出会う機会を設け交流を促すことを目的に開いており、これまでに9組が結婚している。

特産の梅をアピールしたい

衣笠中が神島屋とタッグ
販促と商品開発を考える

地域の特産である梅の学習に取り組む田辺市立衣笠中学校は、梅のPR活動に力を入れている。梅のPR活動に力を入れている。梅のPR活動に力を入れている。梅のPR活動に力を入れている。



意見を出し合う生徒たち

2月8日、衣笠中の2年生が神島屋のメンバーを招いて意見交換を実施。学習の様子を見ようと、地元JA紀南三軒支所の青年部や

商品開発については「やみつき梅塩ラーメン」「ウメエチャーハン」の素、「梅クッキーフラワー」など商品名にもこだわった様々な案が出された。

垣坂卓哉副主任は「生徒たちは、発信の仕方など様々なことを神島屋の皆さんから学んだと思うので、この経験を今後も生かしてもらえたら」と話している。

役員談話

協同

21



監事 小幡 博巳 (とんだ地区)

農業の歴史と私たちの地域農業

農業の課題には、従事者の高齢化やそれに伴う後継者不足、耕作放棄地の増加が挙げられます。

若い世代の参入や農業の大規模化など、課題を解決する手立てとして期待されています。農業の新しい「働き方」がどう変化するかを予測するのは、簡単なことではありません。

日本農業の歴史を遡ると、縄文時代におこった原始的な農耕文化が始まり、人々が生活する土地や環境に適した作物や、家畜を育てる「適地適産」という自給自足の生活を基本とし、現在に至っています。

大正時代には第一次世界大戦を背景に、農業は人力から機械化が推し進められました。昭和時代も第二次世界大戦で食糧不足となり、1942年に「食糧管理法」が制定され、コメなどの食糧が国家管理になりました。

現在は農業人口が減少傾向にあり、日本農業の歴史に深く関わりのあるコメも近年需要率も低下しています。時代と共に米作りから複合農業へと移り変わっていききました。

私たちの地域といえは、中山間地域であり昔から農林業が中心でした。私の知る農業では、機械化が本格的に進み始めたのは昭和40年代後半からだと記憶しています。

それまでは牛を中心とした人力農業で、苗代から田植え、稲刈りまで手作業でした。肥料も今日のような物はなく、チツ素・リン酸・カリの単品のみ、堆肥に代わる物は牛糞や人糞を使用していたことを思い出します。

私が小学生の頃は、農業を手伝うのは「当たり前のこと」のように、牛の世話や苗代の苗取り、田植え、稲刈りなどを行っていました。

昭和30年代後半からは「米とレタスの複合農業」への取り組みの始まりです。当時のレタス作りは被覆もなく、栽培技術もないため、小玉でポールのようでした。

「レタスはすさみ町が発祥の地」と言われ、西牟婁地方ではレタスが盛んに栽培されるようになりました。技術も向上し、機械化が進んだことで栽培面積も拡大され、日本の産地となりました。

とんだ地域でも昭和40年代後半には「1000畝運動」が行われ、80畝の栽培面積まで上り詰めましたが、その後はやはり高齢化により栽培が衰退しました。

今はレタス栽培をする新規就農者が増えてきています。放作農地を増やさないようお願いするとともに、私も僅かながらでも地域に貢献できるように頑張りたいと思います。

JA紀南職員

令和6年4月採用 10名程度

採用時期: 令和6年4月1日

応募資格: ①令和6年春に大学・短大を卒業見込みの方(新卒者)

②大学・短大を卒業した方(既卒者)

※①②ともに令和6年4月1日現在満30歳以下(平成5年4月2日以降生まれ)の方

待遇: 当JA規定によります。

勤務地: JA紀南管内

※田辺市(本宮町・龍神村を除く)・上富田町・白浜町・すさみ町・串本町(旧古座町を除く)

申込方法: ①履歴書②卒業(見込)証明書③成績証明書④写真1枚(履歴書に貼付したものと同一写真)を提出してください。



申込締切日: 令和5年3月29日(水) 必着

※JA紀南人事教育課 宛

選考方法: ●書類選考●1次選考=筆記試験(一般常識、小論文、性格検査)と1次面接●2次選考=2次面接●3次選考=3次面接

1次選考: 4月5日(水)、4月6日(木)、4月7日(金)

2次選考: 4月20日(木)、4月21日(金)、その他

【お問合わせ・書類提出先】



JA紀南人事教育課 ☎0739-25-5736

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24番17号



3年ぶり一同に集結 JA女性会つどい・家の光大会

アトラクションは行わず 活動表彰や映画鑑賞など

JA紀南女性会（瀧本かおり会長）は2月10日、紀南文化会館で3年ぶりに「JA女性会つどい・家の光大会」を開いた。参加した女性会員や役員など209人を前に、瀧本会長が「これからも意識を高め、元気な女性会であり続けましょう！」とあいさつした。

コロナ対策として午後半日に変更し、座席も1席空けて座るなどして開催。来賓に田辺市の林誠一副市長や、JA和歌山中央会の小川純生常務、家の光協会中日本普及文化局の塚原誠局長らを招いた。

という事情から、毎年好評の女性会員によるアトラクションは行わず、代わりに全員で映画「はなちゃんのみそ汁」を鑑賞した。家の光普及・文化活動優良表彰には、なかへち・日置川・すさみの3ブロックが受賞した。組合員組織活動功労者表彰で



総勢 209 人が集まった大会（紀南文化会館大ホール）



あいさつする
瀧本会長



JA女性会組織綱領を黙読

は、白浜ブロックの前地千代美さん、なかへちブロックの串節子さんがに感謝が手渡された。SDGsにつながる活動として、捨てられるはずのものをリサイクルして暮らしに役立てる「MOTTAINAI大作戦」の表彰では、ア

「田辺ミニフェスタ」が最優秀賞

県JA家の光大会の
支所協同活動部門で



表彰式で賞状を受け取る
瀧本かおり会長

「県JA女性の集い・家の光大会」が1月13日に和歌山市のJAビルで開かれ、JA紀南女性会田辺ブロックの活動のひとつである「田辺ミニフェスタ」が、「支所等を拠点とした協同活動への女性組織参画コンテスト」で最優秀賞を受賞した。

本コンテストは、活動の企画段階から積極的に女性会が関わっているか、JAと連携がとれているか、広く地域に効果が及んでいるかといった基準で審査される。

今回の受賞理由として、ファーマーズマーケット「紀菜柑」を舞台に、女性会と「紀菜柑」、中央支所、青年部が連携してさまざまな人を巻き込んだ活動であること、女性会が主体となり取り組み、地域活性化につながっていることなどが評価された。

大会には、県内JAの女性会役員・役職員ら計76人が参加。家の光体験発表や、コンテストの表彰・報告などが行われた。

体験発表

女性会活動で広がった出会いに感謝

白浜ブロック

堅田 チヤ子さん



女性会との出会いは30数年も前になります。当時は名称も農協の婦人部でした。

近所のおばさんたちに誘われて入会し、しばらくして今度は「地区の役員もお願いします」と言われ、「入ったばかりなのでその役はチヨット無理です」とお断りしたのですが、「いやいや大丈夫。若いからすぐに慣れます。よろしく頼みます」。テンポの良い言葉に聞きいってしまい、返事もしないうちに帰られました。

私自身どんなことをしているのかほとんど分からず、初めての会議に出席しました。緊張しているのが伝わったのか自己紹介の

後、部長さんが「堅田さん受けてくれてありがとう。若い方が入ってくれるのが歓迎です。皆さんよろしくネ」と助け船を出してくれました。隣りに座った方は「主人と同級生なんや、よろしく」と声を掛けてくれ、挨拶を交わした彼女は今も一緒に役員をし活動しています。

少ずつ活動にも慣れた頃、平成15年にはJA紀南の合併により活動範囲も広がりました。大勢の会員さんとお話の機会が増え、今までに無かった活動も楽しみも多くなりました。「ママリンピック」や「つどい家の光大会」では、自分のことは横に置いて皆さんの格好を見て笑い、講師先生の話を聞いては感動し、楽しい一日が過ぎていきます。役員をして貴重な経験もさせていただきました。JA紀南女性会の会長を務めていた平成24年9月には、大分県のJA女性会から

A紀南と女性会の活動を紹介してほしいとの依頼があり、大分県JA女性大会で発表することになりました。

上杉課長と原稿づくりを精を出す中、当時の本田専務も心配して来られ「チヤ子さんアドリブナシやで」「分かってます。それを入れたら元に戻るのが大変ですから」と言いながらも、少し入るかも、イヤ入れたらアカン！と自分に言い聞かせ、いざ大分へ出発。往路の列車や夕食の後も原稿に目を通し備えました。

当日、司会者に紹介され壇上へ上がって話し始めようとした時、前列の人たちが口をもぐもぐ、「この人たち失礼やフ」と思った矢先、「コレ美味しいヨ」とニッコリ。紀南のパンフレットと一緒に土産に持って行った一粒の梅干しでした。

緊張も解け、アドリブも入って原稿通りにはいかなかったけど、女性会の支部やブロック・本部の活動を一時間かけて自分なりに紹介することができました。そして懇親会では数人の方から質問や意見を聞か

れ、こちらからも、「なぜJA紀南を選んでくれたのか」を尋ねると、JA紀南の組合長の講演を聞いたとき女性会のことを自慢されていたので、どんな女性会だろうと思い聞いてみたかったこと。

聞いてみてどうだったかを尋ねると「私たちも見習うことがたくさんあったよ」とうれしいお言葉をいただき、上杉課長と「女性会の紹介ができてよかった」と話しながら帰路につきました。改めてJA紀南と女性会を誇りに思った3日間となりました。

また、JA紀南が平成26年2月に全国家の光大会で文化賞をいただいた時には、当時の本田組合長や山本専務と一緒に大きな舞台に立ち表彰を受けたことは一生の思い出となりました。

この時一緒に文化賞を受賞された京都の会長さんとは今も出会うと声を掛け合う仲間となっています。着物を着た記念写真を見て、家族は「これ良く写ってるから遺影にしたら」と笑う一幕も。ステキな思い出がまた一つ増えました。

ある日のこと、一人で歩くのも困難になってきた主人の兄を病院に連れて行っていたところ「会長さん、こちらから持ち上げるので向こう側から引張ってください」と手伝ってくれた女性がいきました。上手に乗せることができました。本当に助かりましたとお礼もこそこに言いました。

帰り道、「会長さん」と言われたからきつと女性会の人だ。親切にしてもらったのに名前聞いておけば良かった。今度出会った時にキチンとお礼言えたのにと反省。もし反対の立場だったら私にできただろうか、勇気のある行動に感謝の気持ちでいっぱいになりました。こんな行動をとれる人になりたいナと思っています。

女性会活動を通してたくさんのお会いというんな経験ができたこと。30数年前に誘われて入った女性会に入って良かった。これからもできる範囲で参加しようと思えます。

令和4年度 営農地区懇 Q&A (問答集)

62会場・974人出席で開催

栽培指導や肥料農薬に関するご意見多数

J A紀南は昨年12月から1月にかけて、各地区で営農地区懇談会を開き、62会場で974人の参加をいただきました。組合員からは肥料等資材の高騰による農業への影響や水稲の販売対策、梅の消費に関する要望などをいただきました。本誌では、これらの意見・要望について改めて整理し、Q&A形式で回答いたします。



肥料高騰対策事業の受付を行うJA職員

を行うとともに、農地を守るための支援について検討を進めます。水稲については、裏作や高収益作物への転換も含め、後継者として地域の担い手が育成できるような持続可能な農業の検討もしていかなければならないと見ます。

Q 水稲の栽培層に記載している土壌改良や施肥について、このままいくとコスト高で農業経営は赤字になる。指導部全体で課題として対策を進めてほしい。

A 水稲栽培層は、高品質・安定生産などを目的に薬剤の抵抗性や環境の保全、資材価格などを考慮し、西牟婁振興局監修のもと管内の一般的な栽培方法を示すために作成しています。喫緊の課題として、土壌分析に基づく適正施肥の推進や低コスト資材の提案とともに、栽培実証試験に取り組みたいと思います。

Q ご指摘の通り、近年の資材費高騰や販売価格の低下などの影響で、



適正施肥のための土壌分析する職員

Q 畑にモグラが頻繁に出て困っている。何か良い対策はないか。

A モグラは一般的に20〜50センチ四方で行動し、直接農作物に被害は与えませんが、索餌活動時にトンネルを掘るため、根の切断や乾燥により、生育が悪くなるといった被害報告があります。

モグラ対策として、農薬登録のある忌避剤がないことから、一般的には捕獲することが対策の一つとなっています。捕獲方法については、浅く繰り返し使われる「生活トンネル」に捕獲器を設置することが効果的な捕獲方法とされており、次の点から

Q 資材の高騰がこのまま続けば、地域で米作りをする人がいなくなり放棄地が増えることになる。農地を守るためにも、J Aとしての対策を早急に進めていただきたい。

A 肥料をはじめとする生産資材が高騰しているため、J Aでは国の肥料価格高騰対策事業を活用し秋肥への支援を行うとともに、J A県下統一肥の採用で肥料価格抑制に努めています。土壌分析に基づく適正施肥の推進、資材メーカーとの価格交渉等を行っています。また、今年の春肥への支援も行う予定としています。

Q 今後、資材価格の動向を注視し、環境に応じて国や県等への要請

Q 水稲を今までより高値で販売することができないか。

A お米の消費量は、食生活の多様化、少子高齢化、世帯構造の変化などさまざまな要因により年々減少しています。

Q J A紀南では、玄米直販や学校給食等の独自の販売に取り組んでおり、独自の価格で精算しています。需要量が減少している中、厳しい販売環境が続いています。今後とも、購買部と連携して有利販売に努めてまいります。

Q 直売所について、県内外の直売所間での連携を深め、活性化策を検討してほしい。

A J A紀南と提携しているファーマーズマーケットが県内外にたくさんあり、そこへ向けた出荷にも力を入れ販売額も増加しています。今後も取引を継続し、相互の売り場が充実できるような提案・交流・情報交換を進めてまいります。



提携ファーマーズへの取引も強化

Q タイベックマルチやTSアップシートの取り扱いは今後どうするのか。また価格は値上がり前の値段なのか。

A 今回の予約取りまとめから、数量は限定ですが、タイベックマルチの流通が可能となりました。昨年度は代替品としてTSアップシートのご利用をお願いした経過があり、一部の利用者の方からは「TSアップシートの方が良かった」との意見もいただいています。今後はタイベックマルチとTSアップシートの2種類を取り扱っていく予定です。

予約取りまとめの価格については、値上り後の価格となっています。

ご了承ください。

Q 今後も肥料の価格は高騰していくのか。また、予約をすればすべて購入することができるのか。

A 肥料価格については、現在のところ高値で推移している状況です。今後の動向については世界的な経済情勢もあり、不透明な部分も多く、価格についての見直しは立っていない状況です。しかし肥料原料については、一昨年のように「入荷の目途が立たない」ということは解消され、潤沢とまではいえませんが、予約分については確実に入荷していますので、必要量の予約をお願いいたします。

Q 梅干しの動きが悪いが、今後のタルの引き取り見通しはどうなっているのか。また5年産を収穫するまでにすべて引き取ってくれるのか。

A 現在、過去の予約量と出荷実績により、出荷者にご理解を求めながら引き取りを進めています。作柄や消費動向など不透明な状態であり、確実な時期をお伝えできませんが、できるだけご希望に添えるよう取り組んでいますので、ご理解ください。

Q 梅の所得対策は何か考えているのか。農家としての

収益の減少が想定されますが、従来J Aでは、水稲の裏作による収益確保を提案しています。

振興局や試験場にも協力をいただきながら新たな栽培技術等の研究にも取り組んでまいりますので、水稲の裏作や高収益作物との併用栽培など、生産者の皆様のご理解・協力をよろしくお願い致します。

A 販売チャネルは増えているが、このような状態が続けば5年で農家は潰れてしまうと思う。これはJ Aの営農経済だけの問題ではなく、産地全体で考えないと既に厳しいところまで来ているのではないか。

A 梅は青果だけでなく梅干しにできることが有利に働き、需要と供給のバランスを何とか保ってきたのが現状と思われます。過去よりも梅の販売チャネルが増えたことは、産地としてプラスに働く部分でもありますが、一方で、生産者が生産する梅干しの割合が減少し、それ以外の原料が梅干し製品の中心になって流通が成立するようにするのはないかと推測します。青果・加工梅・梅干しとバランスを保つて、年による需要や生産量の変化に対応して、供給していくことが産地として重要と考えます。J Aとしても消費拡大のための営業活動や産地全体でのPR活動への参加、また、梅干し原料流通対策などに取り組んでいますので、ご理解ご協力をお願いします。



消費地で梅をPRをする職員



ミカン

◆苗木の管理

苗木の成長は水の影響を強く受けやすいため、定植後は土壌が乾燥してくればかん水を行う。その際、根が土から出た場合は乾燥しやすくなるため再度しっかりと覆土する。ただし、接ぎ木部分が隠れるまで覆土すると、逆に樹勢の低下をまねく場合があるため注意が必要だ。

発芽が始まるとアブラムシやミカンハモグリガ、アゲハ類の防除を行う。特に木が小さなうちは、食害によって生育が遅れたり、被害が大きいと枝が枯れることもあるため、適期防除を心掛ける。防除薬剤は、フェニックスフロアブ

ル(4000倍・前日まで・2回以内)、またはモスピラン顆粒水溶剤(4000倍・14日前まで・3回以内)を散布する。また、果実を収穫しない苗木には、エクシレルSE(100倍・育苗期・3回以内)も効果的だ。

◆高接ぎ更新

3月下旬〜5月上旬が高接ぎ更新の適期とされ、苗木から育てるよりも短期間で成園化することができる。中でも、芽数を多く入れる側枝接ぎは、うまく管理すれば2年目から結実が可能である。高接ぎ更新する中間台木は樹勢の良いものを選び、接ぎ木後は肥料を少量ずつこまめに施用する。処理後の発根を促すため堆肥の施用やかん水の準備も必要だ。

また、高接ぎした木は葉数が減少し、直射日光が当たりやすくなっているため、幹が日焼けしないようホワイトトンパウダー等の日焼け防止剤を塗布することが望ましい。

なお、高接ぎ更新はあくまで応急的・短期的な品種更新方法であり、長期的な視点からすれば、苗木による計画的な品種更新を行うことが望ましい。

◆摘蕾

摘蕾は新梢発生を促進するこ

・黒斑病

黒斑病はモモのせん孔細菌病と同様の細菌病で、強風雨により発生し、風当たりの強い園で発生しやすい。果実に病斑が発生すると商品価値が著しく低下するため、丁寧に防除を行おう。

防除はマイコシールド(2000倍・21日前まで・3回以内)を散布する。なお梅とは登録内容が異なるため注意する。

・コスカシバ

コスカシバ対策として、4月中旬にスカシバコンシを10坪当たり50〜100本設置する。

・シンクイムシ

シンクイムシ発生園では、エクシレルSE(5000倍・前日まで・3回以内)を散布する。

○摘果

粗摘果は満開から30日ほど経過してから行い、50〜60日で仕上げ。摘果後の果実間隔の目安は、大石早生などの中玉品種で8〜10センチ、ソルダムなどの大玉品種では10〜12センチとする。

(芳養谷支所営農経済・栗栖昌央)

水稲

◆種子の準備

種子は10坪当たり4キを用意する。

◆種子の更新

自家採取種子を使用している場

とで樹勢維持と、次年度の結果母枝の発生を促すために実施する。蕾が丸い状態から縦長に伸びてくる時期が適期とされ、おおよそ開花一週間前ぐらいが適期となる。新梢の発生が少ない木や、樹勢の弱い「ゆら早生」等は摘蕾を行い新梢の発生を促そう。

◆春草の除草

春は気温の上昇にともない、雑草の生育が旺盛になる。雑草が多いと地温が上がりやすく、新梢の伸長が抑制されたり、春肥を施用しても雑草に肥料成分を吸収されるため、効果的にかすことができないため、早期の除草を心掛ける。

◆病害虫防除

○そうか病

そうか病は、樹勢の強い園や谷間などの湿度の高い園、強風、多雨の天候条件で発生が多くなる。特に昨年発生した園地では、今年も注意が必要だ。防除は新梢が5〜10センチほど伸びた頃が適期とされ、薬剤は、ブランフロアブル(1000倍・30日前まで・3回以内)を散布する。ただし、マシン油との散布間隔は30日以上あける。

(上秋津支所営農経済・田ノ瀬佳男)

落葉果樹

4月に入ると梅・スモモは果実

合、2〜3年に一度は種子を更新する。

◆塩水選

充実した種子を選別するため、塩水選を行う。水10リットルに対し、食塩2・66キの塩水を作り浸し、浮いた種子を取り除く。塩水選後は塩分を完全に洗い落とす。

◆種子消毒

馬鹿苗病・もみ枯細菌病の予防として、テクリードCフロアブル(2000倍・浸種前・1回)、またはトリフミン乳剤(3000倍・浸種前・1回)を24時間浸漬する。

◆シンガレセンチュウ対策として

、スミチオン乳剤(10000倍・播種前・1回)を24時間浸漬する。

◆種子の浸種

出芽を揃えるため、種子消毒の終わった種粒を、水に浸し十分に吸水させる。浸種日数は、15℃前後の水温で7日程度、1日の平均水温の積算値1000℃を目安とする。

○種子の浸種の注意点

- ・浸種する日数は想定目安であり、催芽(鳩胸)状態の粉になるまで浸種を行う。(図1参照)
- ・浸種する水は、3日に一度かき混ぜて酸素を送る。
- ・浸種する水は多めにし、粉の

肥大期に入る。これからの水分不足は、果実肥大に大きく影響するため、収穫までは乾燥に注意し、乾燥しやすい園地では14日以上降雨がなければ、かん水を行おう。

◆梅

○病害虫防除

5月に入ると収穫が始まる品種もあるため、収穫前日数に注意して防除を行おう。

○黒星病

枝の病斑内で菌糸のまま越冬し、降雨(雨水)によって4〜5月に果実に感染する。特に風通しの悪い園地や、夜露の乾きにくい園地で発生しやすいため注意する。なお、4月が重要な防除期であるため、木の上からムラなく掛かるよう丁寧な散布を心がける。

小梅・古城・青果用南高は4月上旬にナティーボフロアブル(2000倍・前日・2回以内)、4月中旬下旬にスコア顆粒水和剤(3000倍・前日まで・3回以内)で防除する。

漬け梅用南高は、4月上旬にナティーボフロアブル(2000倍・前日・2回以内)、またはイオウフロアブル(5000倍)、4月中旬下旬にオーソサイド水和剤80(800倍・21日前まで・3回以内)で防除する。

○かいよう病

果実への感染時期は4月上旬か

小分け袋は小さめ(4キ以内・1袋)にする。

・催芽が不十分なら、播種日の前日に風呂の残り湯(35度前後)に1日追加浸種し、催芽を促す。

◆播種枚数

10坪当たり苗箱16〜20枚を用意する。

◆播種

播種前の床土またはソーラーマットには、十分かん水を行っておく。

標準育苗日数は、概ね18〜22日のため、田植日から逆算して播種日を決める。

厚播きにするると軟弱な苗になりやすいため、薄播きを心掛ける。

◆ならし水

覆土前に、タチガレン液剤(500〜10000倍・播種時および発芽後・2回)をならし水を兼ねて散布し、苗立枯病を予防する。



播種前の粉の状態



農業資金は

農業資金助成事業のご案内

JAバンク和歌山 保証料助成事業

【対象期間】令和5年1月1日～令和5年12月31日

JAバンク和歌山保証料助成は、JAバンクが農業資金借入時の負担を一部軽減するため、保証料を全額負担する制度です。下記資金のお借入を行い、所定の書類を提出いただいた方が対象です。

対象資金	農業近代化資金・農業振興資金・JA新規就農応援資金
助成額	和歌山県農業信用基金協会の一括前取保証料を全額助成 ※保証料率 農業近代化資金:0.26%、農業振興資金:0.33%、JA新規就農応援資金:0.3%(令和5年2月末日現在) 【例:農業振興資金・保証料率0.33%の場合】期間10年、金額200万円、年1回返済の場合、お借入れ時に発生する約33,000円の保証料をJAバンクが負担します。

JAバンク利子補給制度

【対象期間】令和5年1月1日～令和5年12月31日

JAバンク利子補給は、JAバンクが農業資金の借入負担の一部軽減を目的に、最大1%の利子補給を行う制度です。下記資金のお借入を行い、所定の書類を提出いただいた方が対象です。

	農業近代化資金	農業振興資金	JA新規就農応援資金	JA農家応援型ローン
対象者	農業を営む個人および法人等で組合員の方	農業を営む個人および法人等で組合員の方	就農開始5年目までの新規就農者で組合員の方	農業を営む個人の組合員の方
資金使途	機械・施設等の改良、造成、取得資金など	農地・農機具の購入、ハウス・農業用倉庫の建設、借換資金など	設備資金 運転資金	運転資金
ご融資金額	個人:1,800万円以内	1億円以内	1,000万円以内	2,000万円以内
ご融資期間	15年以内	20年以内	12年以内	1年毎の更新とし、5年以内
お借入金利(条件あり) (令和5年2月末日現在)	0.0%	0.2%	0.2%	0.5%
対象金額	お借入金額100万円以上	お借入金額100万円以上	—	極度額100万円以上
利子補給期間	お借入日から5年間	お借入日から3年間	お借入日から3年間	契約日から1年間(最長5年間)
補給内容	補給率:1%以内 ※資金ごとに下限利率が設定されておりますので、補給率に関わらず、下限利率までの金利引き下げとなる場合がございます。 ※JA農業法人応援ローンも対象となります。 ※お借入金利は利子補給分を引き下げた金利となります。 ※延滞した場合は、延滞している期間は利子補給の対象外となります。			

農業経営をサポートします!!



金融部融資課・岩本

詳しくはお近くのJA窓口、または渉外担当者にお気軽にお問い合わせください。

4月の農作業

野菜

◆**覆土**
育苗期に粉の持上がり症状が起る原因は、水不足または覆土不足であるため、覆土は厚めに行う。覆土後はかん水を軽く行っておく。

◆**育苗管理(かん水)**
水切れには随時注意し、適宜かん水する。被覆を開けて確認する場合は、トンネル内の気温が上がる前の午前中に行う。

◆**育苗管理(被覆の除去)**
発芽後は苗の伸長状況や気温、品種を考慮しながら適宜被覆の除去を行う。

(富田川宮農経済センター・尾野敏之)

◆**ウスイエンドウ**
○トウ止め
春になり生長したつるは、実の肥大促進のため自身の手の届く限界の高さで芯を止める。

○**防除**
前号に引き続き同病害虫防除を継続する。薬剤は収穫前日数・使用回数に注意して防除する。

◆**エダマメ**
○**播種時期**
無トンネルの露地栽培では、4月以降が播種時期となる。発芽適温は25度前後であるため、地域に

花き

よって若干異なるが、中旬頃が適期となる。また地温の確保のため、黒マルチを敷く。

○**播種**
畝幅は135センチ(天面75×80センチ)、株間24センチの2条播きとする。植え穴1カ所に2粒播きとする。

○**施肥**
圃場の地力、前作の残量を考慮して施肥量を定める。基準は10坪当たり苦土石灰100キロ、B Mよりりん40キロ、粒状固形30号プラス20×60(チッ素成分で約2×6)を施用する。

○**病害虫防除**
・タネバエ
ダイアジノン粒剤5(10坪当たり4×6×30日前まで・5回以内)をマルチ設置前に、全面土壌混和または作条土壌混和する。または、クルーザーM A X X(原液・乾燥種子1キ当たり8弱・播種前・1回)を塗沫処理する。

(富田川宮農経済センター・尾野敏之)

施設栽培では、日中の気温が一気に上昇する時期となるので、換気及び土壌の乾燥にも注意し、適宜かん水を行う。

露地栽培では、多雨に備えて排水路を整備しておくとともに、土壌の乾燥に注意し、適宜



ケイトウのセルトレイ育苗

◆**ケイトウ(露地栽培)**
かん水を行う。

○**播種**
早い地域では、お盆用出荷分の播種が下旬から始まる。管理のしやすいからセルトレイ(288穴)に1×2粒播種を推奨している。2×3週間育苗してから定植する。播種後の温度は20×25度を保つように管理する。

播種後は、乾燥すると発芽が極端に悪くなるため、水分は一定に保つようにする。また、育苗時に加湿状態が続くと、根腐れが起こる場合があるので注意する。

○**施肥**
定植前に圃場へ堆肥などの土壌改良資材を投入する。基肥は定植1週間前までに、粒状固形30号プラスを10坪当たり20×程度施用し耕運する。ただし、前作の肥料成分(窒素)が残っている場合は、施肥量を控える。

○**定植**
苗の定植は、本葉が3×4枚の頃に10センチ×10センチの8目ネットに、8条1×2株植えにする。

花木

◆**病害虫防除**
病害虫の発生状況や自然条件などに留意し、病気は予防散布を重点に行う。害虫は発生初期の防除を徹底する。

アブラムシ類・グンバイムシ類には、スミチオン乳剤(1000倍・6回以内)で防除する。

炭そ病・輪紋葉枯病には、トップジンM水和剤(10000×2000倍・発病初期・5回以内)、またはベンレート水和剤(2000倍・発病初期)で防除する。

(中央宮農経済センター・射場直之)

○**病害虫防除**
定植直後は、立枯れ病に注意する。苗活着後収穫直前までは、灰色かび病、菌核病に注意する。害虫は、アブラムシ類、ヨトウムシ類、コナガに注意する。いずれも初期防除を徹底する。また、具体的な薬剤については営農指導員まで問い合わせる。

(中央宮農経済センター・射場直之)



ケイトウの苗定植

「高設多段栽培」で収量増へ
栽培管理などの負担も軽減

田辺市
上秋津

山本 宗平さん

収穫現場を動画で覗いてみましょう！
※Wi-Fi環境での読み込みを推奨します



田辺市上秋津の山本宗平さん(36)は、今年度から栽培槽を2段に組んだ「高設多段栽培」で、イチゴを栽培している。土耕栽培の1.8倍の株数を植えられるため、小さい面積で収益を上げることができ、栽培管理や収穫作業の負担も減ったという。

棚は自ら設計図を書いて手作りした。射光率を上げるために三角形に組み、株元には発砲スチロールの代わりに除草シートを用いてコストを抑制している。課題は土の温度が上がりにくいことで、今後は温湯パイプを通すなどの対策を考えている。クリスマスシーズンなど寒い時期の需要にこたえるのが目標だ。

山本さんは「目指すは収量1.5倍。肥料のバランスと光の当たり方を研究し、食味向上に努めたい」と話している。



収穫中の「紅ほっぺ」と山本さん

ハウスせとがを収穫中！
隔年結果改善で安定出荷へ

田辺市
稲成町

山本 鉄也さん

収穫現場を動画で覗いてみましょう！
※Wi-Fi環境での読み込みを推奨します



田辺市稲成町の山本鉄也さん(46)は、約10坪のハウスで「せとが」を栽培している。3月中旬までに3.5トンを出荷予定で、作柄は良好だ。

ジューシーな食味で近年人気が高まっている「せとが」は、表皮が繊細で栽培の難しい品種。山本さん方では15年ほど前に定植し当初は露地で栽培していたが、寒さに弱い性質から袋掛けが効かないほどの凍害に見舞われ、ハウス栽培に切り替えた。現在の課題は、安定出荷に向け隔年結果を改善することだ。

山本さんは「梅が主体の我が家にとって、せとがは初めて植えた中晩柑。トゲは多いし管理も大変だが、今後も試行錯誤を重ねて品質向上を目指したい」と話している。



「せとが」の生育状況を確認する山本さん

春夏野菜の栽培講習会開く
特長や栽培のコツなど解説



「にこにこ市」の出荷者が参加する栽培講習会



春夏野菜の植付けシーズンを前に、JA紀南の上富田・日置・すさみ地区では2月21日、直売出荷者向けの栽培講習会を開いた。タキイ種苗株式会社の担当者がそれぞれの地区を回っておすすめ品目を紹介し、特長や栽培のコツなどを解説した。

久々の開催に、参加者からは「知らない間に作りやすそうな種類が色々出ていて、勉強になった」「プレゼントしてくれた種を育ててみたい」といった声が聞かれた。

開催を企画したすさみ支所営農経済の前田智也担当は「講習会をきっかけに、生産者の方々に新しい品目をつくる楽しみができれば、それにより直売所に並ぶ商品のラインナップも増えて、店内が盛り上がりたとうれしい」と話している。



鉢上げしたメリクロン苗と会員



安定した性質を持つ「メリクロン苗」を導入
ブランドサツマイモの生産維持拡大へ

串本さつまいも会

串本さつまいも会(柴田明夫会長)は、4月下旬から「なんたん蜜姫」の苗を特別な培養方法で増殖した「メリクロン苗」を活用する。この苗は発病リスクが低く、生産性の向上が見込め、柴田会長は、「長年の悩みだった欠株の改善を実感でき、希望の光が見えてきた」と話している。

JAは「なんたん蜜姫」の生産を維持拡大すべく、選抜した種芋を「和歌山県農植物バイオセンター」にて保管。近年連作障害の影響で病害による欠株が増えていることから、保管している優良な種芋を親として、無菌で培養した「メリクロン苗」を試験的に導入。すると、発病株が少なく、いもづる苗の品質が大幅に改善したことから、今回本格的な導入に踏み切った。

営農支援関連事業一覧

令和5年度の補助事業の受付を各支所で行います。事業メニューは下記のとおりですので、生産者の皆様はぜひご利用ください。
(事業内容は一部変更される場合がありますので、ご了承ください)

令和5年度



日本一の果樹産地づくり事業(県事業)

- ①戦略品種への改植(1/2以内補助)
- ②マルチ・節水型かん水施設(1/3以内補助)
- ③樹体被覆資材(1/3以内補助)
- ④省エネ資材(1/3以内補助)
- ⑤防風ネット【輸出用園地】(1/3以内補助)
- ⑥スマート農機(1/3以内補助)

受付時期…4月10日(月)~4月19日(水)



△温州ミカンのマルチ栽培



△優良品目への改植園

詳しくは地区営農担当者までお問い合わせください。

JA紀南獣害対策支援事業(JA事業)

防護柵資材費(1/2以内補助)

受付時期…4月10日(月)~予算消化まで



◀ 獣害対策に防護柵の設置

田辺市
上芳養

「一次産業を盛り上げて担い手を増やしたい」
団体で県下初の「農林水産大臣賞」を受賞

株式会社日向屋

鳥獣害対策を軸に、地域振興に力を注ぐ田辺市上芳養の「株式会社日向屋(ひなたや)」(岡本和宜代表)は、農林水産省による本年度の鳥獣対策優良活動表彰で、団体として県内で初めて「農林水産大臣賞」を受賞した。

「日向屋」は深刻な鳥獣害から地域農業を守ろうと、若手農家で結成した狩猟チームを基に創業。捕獲したイノシシやシカは加工、販売までを一貫して行い、「ジビエ肉」として地域資源に役立っている。また、鳥獣のねぐらとなっている遊休農地の解消へ園地整備を進めるなど、活動は多岐にわたる。

岡本代表は「受賞は地域の協力あってこそ。活動を続け、一次産業を盛り上げて担い手を増やしたい」と話している。



地域農業を守るため団結する「日向屋」

第9回大会覇者は 牟婁フットボールクラブ

J A 紀南杯ちやくりんサッカー大会



田辺市の目良多目的グラウンドで2月4日、「第9回 J A 紀南杯ちやくりんサッカー大会」(県サッカー協会西牟婁ブロック主催、J A 紀南後援)が開かれました。8チームが勝利を目指し競い合った結果、牟婁フットボールクラブが優勝しました。

大会は地域貢献活動の一環として、青少年健全育成とスポーツを通じ若者を支援することが目的で、J A 共済の協力を得て行われています。

大会は、15分ハーフのトーナメント方式で行われ、決勝戦は牟婁フットボールクラブと串本 J F C が対戦。両チーム無得点のまま最終PK戦にもつれこむ白熱の試合となりましたが、牟婁フットボールクラブがPK戦を2対0で制しました。

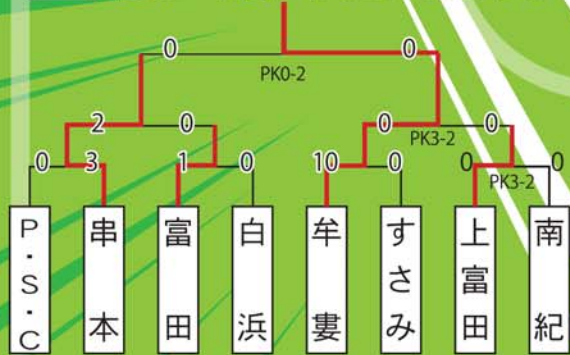


選手宣誓
山本大徳選手
(南紀ジュニアサッカー
クラブ主将)



決勝戦は牟婁 vs 串本の戦いに

優勝=牟婁フットボールクラブ



準優勝した串本 J F C



白浜 ブロック

パラリンピックの競技に挑戦
第1回「ボッチャ」大会開く

女性会白浜ブロック(堅田チャ子ブロック長)は2月3日、白浜町の白浜町立体育館で、第1回目となるボッチャ大会を開き、白浜・とんだ両支部あわせて31人が参加しました。

きっかけは、J A ありだ女性会のボッチャ大会を視察した瀧本かおり女性会長から「J A 紀南でも新しい活動の一つになれば」と会議で紹介されたこと。パラリンピックの競技種目である「ボッチャ」は紀南地方ではあまりなじみのない競技だったため、事前にブロック役員で勉強会を行いました。

競技は至ってシンプル。ジャックボールという白い球に、自分のチームの球が近ければ勝ちとなります。球に強弱を付けるとオーバーしたり届かなかったりと悪戦苦闘しつつも、白い球にくっつくとい喜一憂しながら楽しんでいました。

参加者からは「このスポーツは走ったりしないので足の悪い人でもできる。意外と難しいし、頭もつ



パラリンピック競技の「ボッチャ」に挑戦する会員

かうね。初めてしたけど楽しかった」との声が聞かれました。
(白浜地区センター・南部仁美)



勝利を目指し、チームの仲間と策を練る

田辺 ブロック

他支部同士がボウリングで交流
ガッツポーズやハイタッチなど

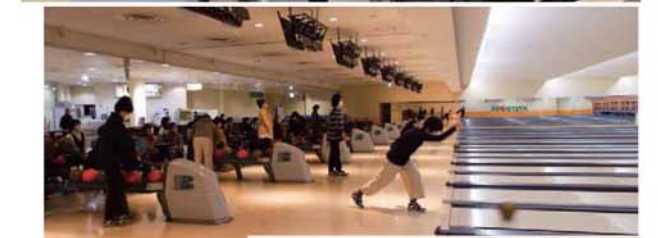
女性会田辺ブロック(瀧本かおりブロック長)は1月17日、パビリオンシティ内「あがらぼうる」でボウリング大会を開き、30人が参加しました。

瀧本ブロック長から「各支部同士交流を深めて楽しんでください」とのあいさつがあったあと、普段あまり交流の無い支部の会員同士が1チームになり、団体・個人賞を狙ってプレーしました。

前年度優勝の堂前浩美さん(上芳養支部)の始球式から始まり、投球練習で体を慣らしてゲームをスタート。ストライクやスペアにガッツポーズやハイタッチをするなど各チームとも盛り上がりました。

表彰式では、北川佳子副ブロック長が団体賞・個人賞を発表。名前が呼ばれるたびに拍手が起きました。入賞者は次の皆さんです(敬称略)。

【個人賞】▽優勝=井谷幾栄(上芳養支部)▽準優勝=坂上亮子(三栖支部)▽3位=上霞正代(上芳養支部)
(ふれあい課・和田裕子)



各支部の会員同士が1チームになり、ボウリングを通じて交流を深めあった



「個人賞」入賞者の皆さん



搭乗者に梅干しを配布する「紀州梅の会」会員

搭乗者に梅干しプレゼント

南紀白浜空港の増便を記念

梅産地の梅干組合やJA、生販者組織、行政でつくる「紀州梅の会梅干部会」は、南紀白浜空港の「南紀白浜II東京(羽田)線」の臨時増便を記念し、2月1日から約1カ月間、搭乗者に梅干し(一粒個包装)を配布しました。関係者らは「これを機に梅干しのファンになってほしい」と期待しています。

東京と紀南地方をつなぐ玄関口の南紀白浜空港で、搭乗者に梅干しを食べてもらう機会を提供し、梅産地をアピールするのが目的。同会に加盟するJAや梅加工業者およそ40団体が約1万個の梅干しを持ち寄り、JA紀南からは、塩分7%の「ひとつぶの幸福」を提供しました。



JA紀の里の井沼指導員(右)に説明する栗栖指導員

装をまとった梅娘、梅干し生産者が羽田空港からの搭乗者に梅干しなどのノベルティーを手渡ししました。期間中は空港の到着ロビーなどに、梅干しを持ち帰れる特設コーナーを設置。搭乗者からは「もらった梅干しがとてもおいしかったので、製造元を教えてください」と好評でした。

指導員の知識向上にむけ

県内JAで営農指導員相互研修

県下JAでは営農指導員による初の相互研修を実施しており、JA紀南は2月20日、21日の2日間、JA紀の里から2人を受け入れました。営農指導員の知識向上を図ることが目的で、今回は補助事業やJA紀南版安全安心システムについて紹介。21日の研修に参加した、JA紀の里の井沼泰志指導員は「今回学んだ安全安心システムを、紀の里の直売所『めつけもん広場』に応用できたら」と話しました。

JA紀南からは6人が紀州、ながみね、ありだの3JAで研修。JAながみねで研修を受けた上芳養営農経

品質の良い苗を生産者に!

育苗センターの屋根を改修

JA紀南指導部は、JA共済の支援を受け、とんだ育苗センターのハウス1棟の屋根資材を張り替えました。

育苗センターは、直売所や生産者などから播種依頼を受け、苗を育成する施設です。古くなった屋根は、汚れや苔で光が入りづらくなり、ハウス内で育成している苗にも悪影響を及ぼす可能性もあったことから、依頼の少ない1月に



張り替えて綺麗になったハウス

張り替え後、担当者からは、「光の入りが改善され、さらに遮光資材も増設されたことによ

り、依頼された納品時期に安定した品質の苗を、生産者に提供したい」と意気込んでいます。

物資配送車両を導入

熊野古道ちかつゆとVASEO

JA紀南は1月31日、JA共済の支援を受け、Aコープ紀南熊野古道ちかつゆとVASEOの両店における冷凍機付き物資配送車両を配置しました。

利用者ニーズへの迅速な対応と地域農産物や加工品、生鮮食料品の配送、安全・安心な食材提供が目的。熊野古道ちかつゆ付近の道路は急こう配が多く、冬季には積雪地域があることから4WDのMT車両を導入しました。



導入した冷凍機付き物資配送車両(左:なかへち、右:VASEO)

みんなの農業エピソード

小中学生から寄せられた

11月から12月にかけて管内の小中学校に梅とミカンを贈呈した際に配布したチラシの中で募集した「農業エピソード」が届きましたので一部抜粋して紹介します。

西富田小学校2年

すずき はな さん

わたしの大好きなミカンに色々な成分が入っていることを知りました。いっぱい食べて元気になろうと思います。

白浜町塾田

ふるい みく さん

梅はおいしいだけでなく、ウイルスを抑える効果があるし、温州ミカンを一日二〜三個食べると効果があることが分かりました。これからもおいしく食べたいと思います。

西富田小学校4年

鈴木 陽奈 さん

わたしたちの住んでいる地域にはいっぱい農家さんの物があるんだなと思いました。豆ごはんも芋ごはんもコーンごはんも大好きなので、この地域に住めてよかったなと思います。

周参見中学校2年

山本 晴暉 さん

自分の住んでいる地域が、レタスの発祥の地と知って、誇りに思いました。そして和歌山にはたくさん農作物があるんだと驚きました!

白浜第一小学校3年

坂本 かなん さん

梅やミカンは家族が食べています。梅は食べるだけではなく、梅エキスなどを使って入浴剤とかに加工はできないのですか?

白浜第一小学校1年

西野 楓志 さん

ミカンは大好き。体にいいと知って、もっと食べたいと思いました。梅は苦手だけど、ウイルスを抑えてくれるなら少しずつ食べてみようかなと思いました。

潮岬小学校1年

渡司 桃子 さん

ミカンと梅干し、ありがとうございます。とてもおいしかったです。

いただいた意見への対応

エコープマーク品の「てんぷら粉」と「こめ油」はどのメーカーのものよりも品質が良い。全店で品揃えしてほしい。

エコープマーク品は、「安全で健康を守る」のコンセプトに基づき、国内産原料を優先的に使用したこだわりの商品です。9つあるAコープは規模がそれぞれ異なるため、全店で同じものを揃えることは難しいですが、ご好評の「てんぷら粉」と「こめ油」はすでに全店で品揃えしました。

ATMがなくなり不便だが、金融移動店舗車はどのようなことができるのか教えてほしい。

金融移動店舗車の取扱い業務は、①普通貯金の入出金および解約②定期貯金・定期積金の解約③通帳の記帳繰越④公共料金・各種税金納付(ただし国税は除く)となっています。曜日や時間が限られているためご不便をおかけしますが、ご理解の上ご利用ください。

＜令和4年度 准組合員懇談会より＞

紀菜柑のイベントや焼き芋、クッキングカーの情報などをもっとアピールすれば、来店客も増えるのではないですか。

JA紀南公式のLINEアカウントを開設し、お手持ちのスマートフォンに、イベントや特売などタイムリーな情報をお届けできるようになりました。2月末時点で約1000人の登録をいただいております。Aコープや紀菜柑のお得な情報を中心に今後も配信してまいります。

スマートフォンは持っていますが、高齢なのでなかなか操作が分からない。使い方を教えていただけませんか。

近年、金融や共済、AコープなどJAの事業においてもスマートフォンでできるサービスが増えています。「利用したいが使い方が分からない」という方には、3名程度集めていただきますと、JAスマホ教室を開催させていただきます。最寄りの支所までお問い合わせください。

J A紀南公式Instagram
2月「いいね」ベスト3

JA紀南のInstagramで2月に「いいね」の数が多かった投稿を紹介。*キャンペーンは除外



1位



中晩柑「せとか」収穫
田辺市の山本さん

2月16日投稿
243いいね!
「かんきつの大トロ」とも呼ばれる中晩柑「せとか」。田辺市の山本さんのハウスで撮影しました。

2位



三舞中学校生徒の
たくあん作りを手伝う

2月6日投稿
220いいね!
白浜町立三舞中学校で行われたダイコンから作るたくあん作りを、JA職員が手伝いました。

3位



テレビ番組で紹介
「なんたん蜜姫」

2月1日投稿
216いいね!
JA紀南のサツマイモ「なんたん蜜姫」が、全国の名産とともにテレビ番組で紹介されました。

JA紀南オンラインショップ
2月売り上げベスト3

和歌山の特産を取り扱う、JA紀南のオンラインショップです。
<https://www.ja-kinan.com/>



1位



木熟デコボン(訳あり)
4kg

一定の糖度・酸度の基準を満たした人気のデコボン。サイズ混合・キズもありますが味は抜群です。(※今年度の受付は終了しました)

2位



木熟デコボン
5kg

一定の糖度・酸度の基準を満たした人気のデコボン。贈り物にもピッタリ(今年度の受付は終了しました)

3位



ご家庭用 塩分7% 百花一箱
まるの梅 500g×3パック

甘酸っぱくてフルーティ梅の爽やかな風味が人気のベストセラー商品です。

お問い合わせは JA紀南産直係まで ☎0120-36-9159 (平日 9:00~16:30) ※写真はイメージです。



ジャガイモを植える園児(2月28日、上野山幼稚園)

田辺市内の幼稚園児ら225人
JA紀南は2月22日から3月1日にかけて、田辺市の幼稚園や保育園などの園児らを田辺市高雄の

ジャガイモの植え付け体験

献活動の一環として、文房具(鉛筆とノート)も進呈しました。

フジテレビのミニ番組「四季彩キッチン」(3月8日放送)に、田辺市上芳養の梅生産者である石神泰さんとJA紀南の加工場などが紹介されました。林修先生がプレゼンターを務め、日本の農業を紹介する番組で、今回のテーマは「紀州の梅」。梅干しができるまでについて石神さんが紹介した後、「林先

林先生!梅干し食べてな

JA学童農園に引き、ジャガイモの植え付け体験を行いました。収穫は6月頃を予定しています。2月28日には上野山幼稚園の園児170人が参加しました。

生!梅干し食べてな」とアピールしました。このほか、JA紀南の加工場や新商品「塩麴梅干し」も取り上げられました。なお、見逃した方は、番組ホームページで過去回としてご覧いただけます。



紀州の梅干しをアピールする石神泰さん

編集部をつぶやき

あの子に会いにいきたい。話がしたい。そのためにはこの鎖を外さないと。そんなことを繰り返すうち、鎖はより丈夫なものとなっていく。そんなとき、いつものあの人が迎えにきてくれた。さあ狩りの時間、思いっきり体を動かして帰る。帰りにもうおやつはいつもと違う逸品の肉なんだよな。あの子に動いてスッキリしたら、またあの子に会いにいく。今日、あの子を狙うライバルに勝負を挑まれた。まったく向かってくるというのか?傷だらけの背中が去っていく。そんなとき俺を呼ぶ声が。しかたない、帰るとするか。この子は無茶がたり若くして亡くなってしまったというが、本当にかわいい犬だったそう。大好きだったあの子と今も一緒に。と見上げた空は2匹が駆けていた。(宮本)

すさみ支所の職員がサポート
すさみ支所は1月、白浜町立三舞中学校が総合学習の一環として行っている「たくあん作り」に参加し、生徒らをサポートしました。同中では、生徒たち自身が育てたダイコンを収穫し、干してたくあん漬けにするまでを体験しています。地元組合員が先生となり、ダイコンの植え付けから収穫、漬け込みまでを手ほどきしました。1月21日には、一面のダイコンを引き抜き洗ってから学校で干し、28日には、葉や根を切り落として漬け込みを行いました。漬けあがったら、各家庭へ持ち帰り、自分たちで作ったたくあん漬けの味わいを楽しむそうです。



収穫後、洗浄したダイコンを干す生徒と組合員

三舞中の「たくあん作り」を

小学新入生に反射材付バッグ寄贈

JA共済の交通事故防止活動で

JA紀南は、管内の公立小学校など41校の新入学児童(812人)に、反射材付きレッスンバッグなどを寄贈しました。

JA共済の交通事故防止活動の一環で、毎年寄贈しています。レッスンバッグは、事故未然防止のため周囲から視認しやすい反射材付きのものです。

2月22日、芝田英敏金融共済常務らが田辺市教育委員会を訪れ、佐武正章教育長に目録とレッスンバッグを寄贈。佐武教育長からは「このバッグを持つ子を見かけるたび、『一年生やな。気を付けな』という気持ちになります。黄色でよく目立ち、反射材が付いているところもありがたい」とお礼の言葉がありました。



レッスンバッグと目録を佐武教育長(写真右)に手渡した芝田常務

コラム

進学・就職シーズン



富田川営農経済センター長
龍神 伸幸

この広報誌が到着している頃はそれぞれの進学・就職の準備の最中だと思おう。

特に大学進学に際しては、一般入試の場合、1月中旬の大学入学共通テスト(センター試験)、今年度の受験者数約51万3千人)、2月中旬には国・公立大学などの前期試験、3月中旬の中・後期試験と受験生、保護者もこの時期は大変忙しい。また、受験先も殆どが県外であるため非常に慌ただしい時期でもある。

前期の合格発表は3月上旬、後期は3月下旬に行われ、合格すると今度はアパート探しや生活用品の準備などで3月の休暇がそのことに費やし、4月上旬の入学式まで大変忙しかったことを思い出します。

私の場合、2人進学したが、娘が広島大学の入学式まで毎週末5、6時間かけて準備に行ったことも思い出します。

行くたびに財布の中から諭吉(お金)が蒸発。4月に入ると入学金、授業料、寄付金等子どものためとは思いつつ、振り込みするたびにため息をつくことも多々。入学すると、今度は生活費、進級するにつれての教科書代等、私の貯金や給料ではとても余裕がない。そのため祖父や祖母に援助してもらい、あとは本人がアルバイトや奨学金で、卒業までなんとか凌いだものだ。

大学3年の後半からは就職のための準備、面接の対策、身だしなみ(スーツの新調)など就職活動に向けた取り組み、4月から一般企業の就職活動期間で6月頃に内々定、10月に内定。その後内定先での研修会、3月には卒業、引越など就職するまで親としては気が抜けない。

下の息子も就職して3年が経った。精神的、経済的にもしんどい時期もあったが、少しは親としての責任を果たせたかなと思う。

当JAも4月から新たに仲間が加わる。最近の新規採用職員は私の子どもの年齢が近く、つい親目線で見てしまい、口うるさくなることもあり反省している次第。

進学・就職される皆さんは、今までサポートしてくれた親に感謝し、新たなスタートを切ってもらいたいと思う。

地場産の旬を味わう

紀菜柑発!
四季菜
直売所 かわら版

J A 紀南ファーマーズマーケット「紀菜柑」より、旬情報をお届け! 3月から4月は中晩柑、キヌサヤエンドウやダイコンなどの野菜も豊富に並びます。



店長・小畑

年間を通して、食味にこだわって栽培した米の新品種「にじのきらめき」を出荷しています。品種の特長は、大粒でもっちりとした食感と、白くキラキラとした炊き上がりです。水をよく吸うので、通常分量より多めの水で炊くともっちりさが際立ちます。おススメです。



杉岡健吾さん (田辺市中芳養)

出荷者紹介



お花紹介
桃の花

桃の花は、桜の咲き始める前の3月〜4月ごろにきれいな花を咲かせて、春の訪れを感じさせられる花です。白や赤、ピンクと色も豊富。花言葉は「気立てのよさ、チャーミング」などです。



Peasant Kitchen Su(スー) 鈴木歩さん

一品入魂!
加工品紹介
からあげ弁当



全国提携JA 特産品紹介
ぼたろい(かぼちゃ漬) 兵庫県JAたじま 「たじまんま」

自身で作ったお米と、国産の食材にこだわって作っています。大盛ごはんと、冷めてもおいしいからあげを主菜にした「からあげ弁当」をぜひご賞味ください。



旬 ウスイエンドウ

大粒でふっくらとした食感が特長のウスイエンドウは、栄養バランスにも優れ、旨味成分である「グルタミン酸」も多く含まれています。豆ご飯やかき揚げ、ポタージュなどにして食べるのがおススメ。旬の味をぜひご賞味ください。

3月中旬~4月にかけての地場産入荷予定(一部)



*天候等により入荷時期が異なる場合があります。

4月 無料相談会
弁護士 税理士 による
法律や税金・相続に関する事など個別にご相談いただけます。
【日時】4月21日(金)午前9時~正午
【場所】JA紀南本所(田辺市朝日ヶ丘24-17)
【お申込み・お問い合わせ】JA紀南金融課(電話0739-23-3516) ※電話予約が必要となります。

今日のピックアップ!
本誌のキャッチアップ!
SDGs JA紀南のSDGsへの取り組み
SDGsの目標
2 気候変動
12 持続可能な消費と生産
JA紀南や田辺市・県などで行くアグリパートナー地域推進協議会は、農業青年に良きパートナーと出会う機会を設けることを目的に婚活イベントを開催。4組のカップルが成立しました。
JA紀南は事業や活動を通じてSDGsに取り組んでいます。

4月の予定
*新型コロナウイルス等の状況によって中止・変更する場合があります。
◆くらしの活動
◎第21回JA紀南女性会総会...24日
◆企画管理
◎採用試験(大卒)...5~7日
◆金融事業
◎総合相談会...21日
◆指導事業
◎農業塾2回目...5日
◎青年部総会...中旬
◆販売事業
◎青梅販売対策会議...20日
◆Aコープ紀南
◎夕市...1日(土)15時30分~17時30分 (デリシスイなり、COOK-GARDEN、APIA、あぜみち、VASEO)
◎朝市...15日(土)開店~正午 (デリシスイなり、COOK-GARDEN、APIA、あぜみち、VASEO)

おしえてみかっぴ
答え。Aコープ商品券は、JA紀南管内のAコープ各店はもちろんですが、和歌山県下のAコープであればどこでも使用することができます。JA紀南では、紀菜柑やJA-SS(給油所)、中央営農経済センターコヒアや支所の購買でも使用できますので、ぜひご利用ください。
※質問は3ページにあるよ

クアハウス白浜元気ウォーク 第1クール
【参加費用】
組合員 会員 一般
第1回 1,800円 2,000円 2,300円
第2回 1,500円 1,700円 2,000円
第3回 1,600円 1,800円 2,100円
【募集人数】 定員になり次第締切
最大人数 最少人数
第1回 25名 10名
第2回 25名 10名
第3回 25名 10名
【第1回 和歌山城 寺町散策コース】 お弁当付き♪ 和歌山城で記念撮影
集合場所:クアハウス白浜
開催日:令和5年4月9日(日) 締切日:令和5年4月2日(日)
【第2回 古座川 一枚岩】 お弁当付き♪ 一枚岩で記念撮影
集合場所:クアハウス白浜
開催日:令和5年5月14日(日) 締切日:令和5年5月7日(日)
【第3回 道成寺 海士里コース】 お弁当付き♪ 道成寺で記念撮影
集合場所:クアハウス白浜
開催日:令和5年6月25日(日) 締切日:令和5年6月18日(日)
※コロナウイルスの感染状況によっては中止とさせていただきます。
あらかじめご了承くださいませ。
(中止となった場合は締切後でも返金させていただきます)
※最少人数に至らなかった際は、中止とさせていただきます。
※締め切り後の返金は不可となります。
お問い合わせ お申し込み クアハウス白浜 ☎0739-42-4175 和歌山県西牟婁郡白浜町3102

A.coop エコープマーク品 食卓にこの一品!
信州なめ茸
エコープマーク品「信州なめ茸」は長野県産のえのきたけを使用しています。ご飯のおともほか、右下のQRコードでは焼いたバゲットになめ茸、マヨネーズ、セロリ、玉ねぎを混ぜ合わせたものをのせて作るおススメのレシピを紹介しています。
エコープマーク品は、『安全で健康を守る』のコンセプトに基づき、厳しい独自の品質基準を作り、安全・安心な国内産の原材料を優先的に使用した商品です。

梅料理レシピ紹介

J・A紀南インスタ企画
#梅料理しか
勝たん2

令和4年にJA公式Instagramで開催した、梅の料理写真コンテスト第2弾となる「～#梅料理しか勝たん2～」で応募作品 157 点の中から入賞した料理レシピ 10 点を順次紹介します。

- 材料(2～3人分)
- 春巻の皮 8枚
 - カニカマ 8個
 - ポテトサラダ(市販のもので可) 約200g
 - 油 フライパンの深さ2cmほど
 - 南高梅(はちみつ) 2粒
 - 水溶き小麦粉、水、小麦粉 それぞれ小さじ2
 - カレーパウダー 大さじ1

梅とカレーのポテトサラダ春巻き

- ①ポテトサラダに叩いた南高梅(はちみつ)と、カレーパウダーを入れて混ぜます。
- ②春巻きの皮にポテトサラダ、カニカマを乗せてくるくる巻いていきます。
- ③巻き終わる直前に大葉を乗せて、巻き終わりに水溶き小麦粉をつけてしっかりとめます。
- ④巻き終わりを下にし、パットに並べます。
※時間がある場合は冷蔵庫で30分～1時間冷やして馴染ませます。
- ⑤フライパンに油を入れ180℃に温める。
- ⑥巻き終わりを下にした春巻きを入れ、焼き色が付くまで両面を揚げ焼きすれば完成です。



@nankle713さん (田辺市)

POINT

はちみつ梅を使うと味がまろやかになります。

リンゴとホタテのグラタン



材料(2人分)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ホタテ貝柱 …………… 2個 | 塩、こしょう …………… 適宜 |
| リンゴ …………… 1/2個 | 薄力粉 …………… 適宜 |
| マッシュルーム …………… 2個 | 白ワイン …………… 大さじ1 |
| 干し柿 …………… 1個 | バター …………… 10g |
| ホワイトソース(市販品) … 大さじ4 | |
| パルメザンチーズ …………… 適宜 | |

作り方

- ①ホタテ貝柱は水気を拭き取り、塩、こしょうをして薄力粉を薄く付ける。リンゴは皮をむいて種を取り除き、一口大にカットする。マッシュルームは石づきを取り、縦半分に切る。
- ②フライパンにバターを入れ、①の材料をソテーして最後に白ワインを回しかける。
- ③6、7cmほどのココットにバター(分量外)を塗り、②と5mm幅に切った干し柿を入れ、ホワイトソース、パルメザンチーズの順にかけ、180度のオーブンで10～12分ほど焼く。
- ④耐熱の下皿に③を載せ、お好みのハーブ(材料外)を飾り出来上がり。



材料(4人分)

- 米 …………… 300g
- 水 …………… 300g

- [A]
- パイオンキューブ …………… 1個
 - しょうゆ …………… 小さじ1
 - タケノコ水煮 …………… 1/2本
 - トマト …………… 小1個
 - 冷凍ムール貝 …………… 200g
 - 新たまねぎ …………… 1/2個

作り方

- ①Aのうち、タケノコ水煮は縦にスライスしてさっとゆがき、トマトは1cm角に切る。新たまねぎは粗みじん切りにする。
- ②米を研ぎ、ざるにあげて20分置く。炊飯器に水を入れ、米とAを全て入れて20分浸水し炊飯する。
- ③炊き上がった②を彩り良く器に盛り付け出来上がり。



洋風タケノコご飯



recommended recipe
Chef Nagai's

シェフ永井のおすすめ

永井智一(ちかひ・ともかず)
茨城県笠間市にある「天晴(旧キッチン職人)オーナード」シェフ

図1 畑の準備

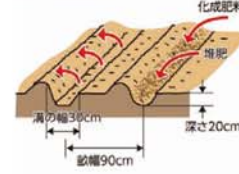


図2 植え付け

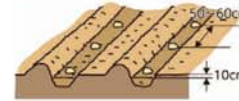


図3 支柱立て・摘心

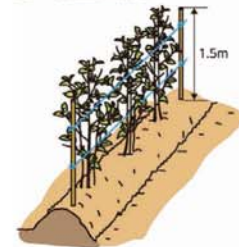


図4 開花



図5 収穫



キクイモは、北米原産のキク科ヒマワリ属の多年生植物です。やや冷涼な気候に適し、生育期間は中間地では4～10月で、10月ごろに開花し、収穫期は茎葉が枯れる11月からで、シヨウウガに似た塊茎を収穫します。キクイモにはイヌリンという水溶性食物繊維が含まれ、血糖値の上昇を穏やかにし、中性脂肪を下げる効果があるといわれている成分です。

【品種】塊茎の表皮が白色と紫色の系統があり、紫種がやや大型です。

【畑の準備】植え付け2週間前、化成肥料(図1)を1㎡あたり300g(溝幅90cm、深さ20cm)を施します。

【植え付け】種芋(塊茎)は重さ20g程度に切り分け、深さ10cm程度に、株間50cm、60cm間隔で植え付けます(図2)。

【管理】どんな土でもよく育ちますが、過湿を嫌うため、やや乾燥気味に管理します。塊茎から多くの芽が出るときは、芽かきをして、2、3本に整理します。

【支柱立て・摘心】草丈が30cmにも伸びて倒れやすくなるので、十分に土寄せをし、1.5m程度の支柱を立て株の周囲にひもを巡らせ倒伏を防ぎます(図3)。

さらに、草丈が支柱の高さの頃、茎の先端を摘心します。10月ごろからヒマワリに似た黄色の花が開花します(図4)。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

【病害虫の防除】強健で病害虫の被害は少ない野菜ですが、生育後半にはうどんこ病が発生することがあります。気になるときは、カリグリーンなど野菜類の登録農薬で防除します。

【収穫】茎葉が枯れてきたら、地際から茎葉を刈り取って、塊茎を収穫します。掘り上げた塊茎はしなびやすいため、3月までは土中に置いて必要に応じて収穫しましょう(図5)。収穫後はポリ袋に入れ、冷蔵庫の野菜室で保管します。なお、畑に残した塊茎は野生化してはびこるので、全て掘り上げます。

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

キクイモ
生育旺盛な健康野菜

園芸研究家◎成松次郎

前に1平方メートルあたり苦土石灰100gを施しよく耕します。1週間前に畝間90cm、深さ20cmの溝を掘り、畝1畝当たり化成肥料(NPK各成分10%) 100gと堆肥1kg程度を施し、土を戻してよく混ぜておきます(図1)。

【植え付け】種芋(塊茎)は重さ20g程度に切り分け、深さ10cm程度に、株間50cm、60cm間隔で植え付けます(図2)。

【管理】どんな土でもよく育ちますが、過湿を嫌うため、やや乾燥気味に管理します。塊茎から多くの芽が出るときは、芽かきをして、2、3本に整理します。

【支柱立て・摘心】草丈が30cmにも伸びて倒れやすくなるので、十分に土寄せをし、1.5m程度の支柱を立て株の周囲にひもを巡らせ倒伏を防ぎます(図3)。

さらに、草丈が支柱の高さの頃、茎の先端を摘心します。10月ごろからヒマワリに似た黄色の花が開花します(図4)。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

【病害虫の防除】強健で病害虫の被害は少ない野菜ですが、生育後半にはうどんこ病が発生することがあります。気になるときは、カリグリーンなど野菜類の登録農薬で防除します。

【収穫】茎葉が枯れてきたら、地際から茎葉を刈り取って、塊茎を収穫します。掘り上げた塊茎はしなびやすいため、3月までは土中に置いて必要に応じて収穫しましょう(図5)。収穫後はポリ袋に入れ、冷蔵庫の野菜室で保管します。なお、畑に残した塊茎は野生化してはびこるので、全て掘り上げます。



本丸からみた熊野川と熊野大橋の眺望

新宮市内にある新宮城跡は国指定史跡に指定されています。和歌山県と三重県の県境でもある熊野川の河口南岸の小高い丹鶴山に築かれ、紀州藩新宮領統治の拠点となっていたそうです。

明治の廃城令により建

物はすべて取り壊されてしまいました。今も残る石垣は、算木積みをはじめ、さまざまな工法を見ることができ、見どころとなっています。また当時、距離72メートルという日本一短いケーブルカー(現在は廃線)の軌道跡を見ることができ、のも見どころです。

ほかにも、本丸北側からは、熊野川と熊野大橋の素晴らしい景色が見られます。特に夕方の景色は、おススメで「和歌山県朝日夕陽百選」にも選出されています。3月から4月の季節には多くの人が訪れ、一年で最も賑わいを見せます。満開の桜と石垣のコントラストは必見です。新宮城跡から新宮市街、熊野灘を眺め、悠久の時の流れに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

所在地 和歌山県新宮市

交通アクセス JR新宮駅から徒歩10分。無料駐車場あり。

(JAみくまの発信)

人権の詩

こころのうた
2021
入賞作品の紹介

知事賞(最優秀賞)
小学生の部

有田市立
保田小学校1年
堀江 花姫さん

「ぎゅっ」
あさのぎゅっ。
ねるまへのぎゅっ。
こまったときのぎゅっ。
げんきがでるよ
えがおになるよ
そうだがっこうに
いったらともだちにも
してあげよう。
みんなで「ぎゅっ」。



(公財)和歌山県人権啓発センター
*学校名・学年は応募当時のものです。写真はイメージです。

JAカレンダー2023 作者紹介



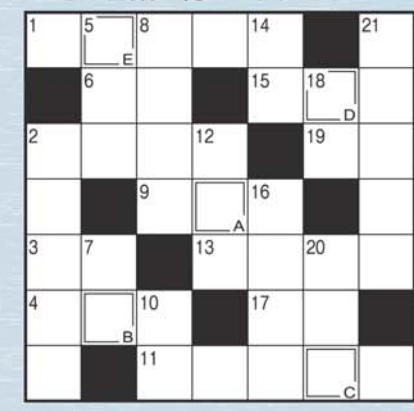
month 04 自然の力 周参見の海岸で
戸梶 章子 さん(白浜町田野井)



同年代の友達と3人で、すさみ町の海岸にある褶曲(しゅうきょく)を見にいくイベントに参加した際に、撮影した1枚です。
ヘルメットと軍手をして、1人がやっと通れる険しい道を行った先に褶曲がありました。近くで見るとその大きさに驚き、壮大さが分かるようにと、イベントの参加者を入れて撮影しました。

クロスワードパズル

Q.二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



- 【ヨコのカギ】
- 唱歌「花」に歌われている川
 - 写真などを撮影するための施設
 - ラクダやアルパカに似たアンデス地方の動物
 - クジラより小さめです
 - 4月なのに冷えるなあ、——の戻りかな
 - 書類の何も書かれていない部分
 - 新1年生の皆さん、ご——おめでとう!
 - 爬虫(はちゅう)類は変温動物、哺乳類は——動物
 - 1、3、5、7、9……
 - 日本人の主食です
 - 船を着けます

- 【タテのカギ】
- 野球のBSOのS
 - 敵ではありません
 - 正しい答えに付けるマーク
 - 遠くて近きは——の仲
 - シオマネキもこの仲間です
 - 得意なもの。漢字で書くと十八番
 - 体温計を挟みます
 - 空弁(そらべん)が売られている所
 - 田畑を耕す道具の1つ
 - ギリシャ文字の最後の字。Ω、ωと書きます
 - 選抜高等学校野球大会の会場です

3月号の答え
イチゴガリ



読者の声

クロスワードパズル応募などでいただいた本誌の感想やJAへのご意見などを抜粋・編集し、地区名、氏名(ペンネーム、匿名)とともに紹介します。

●梅料理レシピ紹介はとて参考になり簡単でうれしです。焼くだけなので油の節約もでき助かります。
(田辺市・63歳匿名希望)

●20代・30代で農業に携わって励んでいる方の特集記事があると10代の若者にもいい刺激になると思います。
(田辺市・62歳匿名希望)

●JAニュースに「チェック1検定」1級合格に古久保玲子さんが載っていました。「おめでとうございませす」以前からレジ対応が1番上手だと思っていました。それに娘の同級生ですので、こちらまで嬉しくなりまして。これからも応援していきますね。
(田辺市・63歳匿名希望)

●各地区女性会の皆さん頑張っておられて楽しんでおられますね。
(上富田町・山本順一さん)

●いきいき熱中人の嶮口さんの記事を読ませていただき、感動しました。素晴らしいことですね。昭和の時代をドンドン教えてください。
(田辺市・岡上せい子さん)

●「農人」コーナーの皆さん頑張っていますね。表紙の人も毎月楽しみにしています。また、クロスワードパズルも認知症にもいいですよ。
(上富田町・70歳匿名希望)

●いつも楽しみに読んでいます。表紙の方々の写真にも心がほっこりして笑顔と元気をもらいます。これからもよろしくお願いします。
(田辺市・浜口文美さん)

●人権の詩「私の気持ち」大西米子さんのなんとも言えない心が和む詩で、今の私の気持ちそのもの様に思いました。ありがとうございます。
(田辺市・石津久実子さん)

●初めてクロスワードパズルをしました。少し時間が

●紀菜柑の品物は新鮮で、安心して買えます。売場が広いので、ぐるっと回って見るのが楽しみです。カレンダーは、力作揃いで、いつも楽しみに使わせてもらっています。知人にもあげ、とても喜んでくれています。
(田辺市・67歳匿名希望)

●毎月買い物をするお店で見つけるのを楽しみにしています。5年前に大阪から引越してきて農作物の成り立ち(準備・収穫等)を季節ごとに日々の生活で身近に感じるきっかけとなっていて、勉強になります。
(上富田町・43歳匿名希望)

●広い地区の中で他方面からの記事。大変でしょうが、紀南地方のことが知れて毎月楽しく読ませていただいています。ありがとうございます。
(田辺市・71歳匿名希望)

●田辺梅林がオープンすると聞いて行ってみたいと思いました。梅の産地の和歌山県に長年住んでいて、一回も行ったことがないので、もったいないです。
(串本町・54歳匿名希望)

●こんなところありますスポット「瑠璃光霊泉」の記事に興味をもって読みました。最近胃腸の調子が悪いので時間のあるときに汲みに行ってお茶にして飲みたいと思います。
(上富田町・62歳匿名希望)

●梅料理レシピを参考に作りました。とっても美味しかったです。シェフのオススメも参考にしています。いつも人権の詩が素晴らしいです。これからも楽しみにしています。
(田辺市・福嶋三千代さん)

右記を参考に、ハガキでご応募ください。締め切りは3月31日(当日消印有効)。正解者から抽選で10名様にAコープ商品券をプレゼントします。なお、月末までにいただいたご意見の一部を掲載させていただきますが、お名前を希望されない場合は、応募者名を明記のうえ、「匿名希望」とお書きください。

〒646-0027
JA紀南広報係
田辺市朝日ヶ丘24-17

①クロスワードの答え
②住所・氏名・年齢・電話番号
③本誌の感想や特集してほしいコーナー、またはJAへの意見等

読者プレゼント
Aコープ商品券 500円分 10名様
Gift Card 500

いきいき熱中人

手まり作りに願いを込めて

田辺市長野

ひのきやま としこ
 松山 敏子さん (96歳)



手まり作りを始めて、30年ほどになります。主人に先立たれ、悲しい時も手まり作りに癒されて、畑仕事をしながら続けてきました。

糸と綿を重ねて、どんどん玉を大きくしていくのですが、一つ作り上げるのに、小さいものでも1週間以上、手のひらほどの大きさになると1ヵ月以上かかるので、出来上がった時の達成感は、言葉では言い表せないほどうれしいものです。

配色を考えることがとても難しく、糸の段階ではいい色合いだと思っても、完成した手まりを見ると、「思っていたのと違う……」となることがよくあります。今は、1日でも早くコロナが収束することを願い、お守りの意味も込めて作っています。

お母さんといっしょ!

串本町二色

すどう まさこ のあ
 須藤 昌子さん 乃愛ちゃん (8歳)

薬剤師さんになるため勉強中

乃愛ちゃんはとても明るい性格で、誰とでもすぐ仲良くなれる元気な女の子です。今はあやとりハマっていて、友達とよく「はしご」や「ダイヤモンド」を作って遊んでいます。剣道も習い始めたところで、家でも練習を頑張っているんですよ。

将来の夢は、薬剤師さんになること。薬局で働いているお母さんの姿が憧れです。
 《お母さんの話》乃愛とお出かけするのがとても楽しみ。元気に成長してくれたらそれだけで十分です。



JA 職員紹介



はら こうじ
 とんだSS 原 浩司さん

昨年10月からSS業務を担当しています。20数年ぶりの購買部門だったので初心に戻って業務に励んでいます。野球観戦が好きで、特に大谷翔平選手を応援しています。

中央営農 かしやま あい
 経済センター 柏山 愛さん



購買窓口を担当しており、日々の業務をミスなく行うことと、元気な対応を心掛けています。愛犬とドックランに行くのが夢で、いろいろなワンコと交流したいです。



よした めいみ
 口熊野支所 吉田 芽美さん

金融窓口を担当しています。入組2年目で分からないことが多いですが、ミスをしないよう気をつけています。休日は、友達とカフェでおしゃべりを楽しんでいます。

共済部 はやし よしかず
 事故相談課 林 悦和さん



自動車事故の早期解決に向け、業務に取り組んでいます。コロナが落ち着き出かけることが多くなると思いますが、楽しい休日を過ごせるよう、安全運転を心がけてくださいね。

ふれあい 広場

うちのペット



ちくわくん(み:オス)

飼い主: 田辺市朝日ヶ丘 竹内日和乃さん

名前を呼んでも知らんぷり、好物のエサを見せると「くれくれ」と突進してくる小型うさぎ「ネザーランドドワーフ」のちくわくん。まるでぬいぐるみが動いているようで、飼い主はその仕草にメロメロ。今年は卯年、家族を癒すために活躍します。

JA 青年部

みやもと せいじ
 宮本 誠士さん (35歳) 稲成支部

品質向上と秀品率アップが目標

家業を継いで10年目。就農後、体を痛めず、手早く収穫できることから、イチゴを土耕から高設栽培のハウスに切り替えました。現在は7棟で栽培しており、品質向上と秀品率8割以上が目標です。イチゴ以外にも梅とミカンを栽培しているので、時間を作れない時もありますが、機械に頼りすぎずできるだけハウスに行き、目で視て機械の不具合や品質に問題がないか確認しています。

イチゴの知識に偏っているのですが、青年部の仲間たちと話をすると、他の作物の情報を知ることができてありがたいです。休日は友人と遊んだり本を読んだりしてリフレッシュしています。



元気です!



ひ孫の桃愛(もな)ちゃん、母依(めい)ちゃん撮影

花や子どもとふれあうことが大好き

田辺市芳養松原
 大西 喜代子さん (77歳)

花や子どもとふれあうことが大好きで、芳養婦人会のメンバーで協力しあい、月に1回、芳養小学校で「ふれあい教室」を開いています。教室では、紀菜柑などで買ってきた花を使ったフラワーアレンジメントをしたり、クリスマスツリーや正月飾りなどの季節ものを作ったりしています。子どもたちが楽しんで、色んなことを聞いてくれるのがなによりうれしいです。他にも、月2回のあいさつ運動や、令和4年度はコロナで中止になりましたが、年に1回昔の遊びを教える活動もしています。

手を動かすことが健康の秘訣だと思うので、パッチワークで玄関飾りを作ったり、ハンドタオルを使ったぬいぐるみ作り、生け花なども楽しんでいます。